

自分の時間と他人の時間



早いもので3月に入りました。来週には卒業式を行います。先週の金曜日から、3年生の卒業式の練習も始まりました。合唱の様子を見せてもらいましたが、ここから少しずつ、卒業に向けて気持ちも入ってくるのだろうなと感じました。

少しずつ暖かさを感じる日も増えてきました。今年は降水量がとても少ないと言われています。しかし、先週は雨の降る日もありました。「ひと雨ごとに春に近づく」とか「三寒四温」という言葉があります。春に向けて、気候も大きく変化していきます。

最近私は、毎週木曜日の昼休みにできるだけ図書室に行き、読書の時間を作るようにしています。書店でさがしてきた本を読むこともあれば、図書室で借りた本を読むこともあります。

先日まで、堀江貴文氏の「時間革命」という本を読んでいた。文化委員会で自分のおすすめの本を選び、コメントを書いていたので、手にしてみました。

堀江氏はこの本を、「人間にとって何より尊いのは“時間”である」「時間ほどかけがえのないものはない」という視点から、この本を書かれたのかな、と思いました。

この本には、「自分のための時間(自分時間)」を増やすことが、人生の質を高めていくと書かれています。

「自分時間」とは、好きな仕事、やりがいのある仕事、趣味、やりたいことをしている時間、気のあうなかまと過ごしている時間のことです。

そして本の後半では、「他人の時間」つまり、ほかの人の自分時間について考えさせられました。人はみんな「自分の時間」を生きる権利は持っているが、「他人の時間」を奪う権利はない、と書かれていました。「自分の時間」を大切にしたいからと、周りに迷惑をかけて、「他人の時間」を奪うことはしてはいけないというのです。

みんなそれぞれの夢や目標に向けて、「自分の時間」を生きていきます。しかし同時に、周りの人の時間も大切にできる人であってほしいです。1,2年生にとっても、今のクラスで過ごす時間は少なくなってきました。みんなにとって大切な時間を価値的に過ごしてほしいものです。

おめでとう!

○ ソフトテニス部 2ブロック1年生大会 第3位